

4. 20 秒ルールの適用

- ① 走者がいる場合に適用する。
- ② 20 秒の計時は、次のときに始まり、いずれの場合も投手の手から離れたときに終わる。
 - A) イニングが始まるときやボールデッドになったときは、球審がプレイを宣告したとき。
 - B) ボールインプレイの状態、新しい打者が打撃を開始するときや、バッタースボックスの外に出ざるを得なくなったときなどは、投手がボールを保持し、打者がバッタースボックスに入って投手に面したとき。
※投手が投手板についているかどうかに関係なく、打者の準備が整ったときに計時を始める。
- C) ボールインプレイの状態、打者がバッタースボックス内で打撃を継続しているときは、投手が捕手や他の野手からボールを受け取ったとき。
- ③ 1 度目・2 度目に 20 秒を経過したとき(21 秒になったとき)、2 塁塁審はタイムを宣告し、球審、投手及び、守備側の監督に 20 秒を経過したこと及び、その回数を知らせる。
- ④ 3 度目に 20 秒を経過したとき(21 秒になったとき)、2 塁塁審と球審は、走者がいないときと同様の処置をする。
- ⑤ 投手が塁に牽制球を送球したときは、20 秒の計時をリセットする。
※投手板をはずしただけのときや偽投の時は、計時を継続する。

以上

日本リトルシニア中学硬式野球協会が 1 月 7 日付で示した「ガイドライン」の文面に、一部文字の修正及び文言の追加を行っています。

(1) 文字の修正

時計を計時に修正

(2) 文言の追加(20 秒ルール②項 B)

B) ボールインプレイの状態、新しい打者が打撃を開始するときや、バッタースボックスの外に出ざるを得なくなったときなどは、投手がボールを保持し、打者がバッタースボックスに入って投手に面したとき。